

会議録様式

| | |
|----------|---|
| 附属機関等の名称 | 杉戸町下水道事業審議会 |
| 会議名 | 令和7年度第4回杉戸町下水道事業審議会 |
| 開催日時 | 令和8年1月16日(水) 午前10:00~11:30 |
| 開催場所 | 杉戸町上下水道課 二階会議室 |
| 議題 | (1) 議事 ① パブリックコメントの結果について ② 令和7年度杉戸町下水道事業審議会 答申書(案)について |
| 公開・非公開の別 | 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開 (傍聴者 2人) (非公開の場合理由) |
| 出席委員氏名 | 新井久孝委員、大坪安吉委員、川嶋忠雄委員、桜井政雄委員、高野忠富委員、蓮沼弘行委員、引地量哉委員、堀江津喜子委員、藤倉正委員、松本和也委員、間中健太郎委員 |
| 審議の概要 | <p>(1) 議事</p> <p>① パブリックコメントの結果について 令和7年11月26日(水曜日)~令和7年12月25日(木曜日)の1か月間、上下水道課窓口、役場情報コーナーを始めとした、公共施設12か所の窓口に設置した。 また、町ホームページにも改定の素案を掲載して意見を求めたところ、特に意見は出なかった。</p> <p>② 令和7年度杉戸町下水道事業審議会 答申書(案)について ◆事務局より答申案を提示し、委員からの意見を求めた</p> <p>●1 杉戸町下水道事業経営戦略の改定として、施設・設備投資及び財源見通しの考え方について 川嶋副会長 施設・設備の老朽化という文面からすると、2段落目「更新需要」を「改築・更新需要」とすべきではないか。 事務局 修正する。</p> <p>●主な課題と解決策 大坪委員 経費回収率81.22%といきなり出てくるが、用語の説明が必要ではないか。 蓮沼委員 「経費回収率は本来100%であるところ、81.22%にとどまり」という表現はどうか。 事務局 修正する。</p> <p>高野会長 「健全化の視点からも必要です」が若干弱い。「不可欠」や「極めて重要」などの強い表現が必要ではないか。 事務局 「必要不可欠」と修正する。</p> |

川嶋副会長 「令和 10 年度に下水道使用料を 11%改定し、経費回収率を段階的に向上させる方針が～」とあるが、この「段階的に」とは料金の再改定を含んだ表現であると捉えられるがどうか。

高野会長 経営戦略内でも令和 10 年度に経費回収率を 85%、令和 12 年度に 90%と、段階的な目標設定は掲げられているが、11%の料金改定だけが掲げられている。さらに改定をする必要があることを含んでいると思われるが、これをどこまで具体的に表現するかということだと思う。「引き続き段階的に向上させる」といった表現をすると対外的に強いインパクトが出てくると思うが、どうか。

堀江委員 曖昧にすると分かりづらい。そのように多少事実を書くべきだと思う。

松本委員 「改定後の経営戦略においては、～経費回収率が 100%を下回る状況」とあり、これは上記の 81.22%を受けてわかるが、「使用料水準」と「経費回収率」がともに 100%を下回るという書き方をしており、使用料水準が 100%を下回るというのは、この中から読み取れるのか。

高野会長 この 100%が両方にかかって見えてしまうという指摘かと思うが、「現行の使用料水準が低く、経費回収率が～」とするのはどうか。

事務局 修正する。

●意見 (2) 使用料の改定

高野会長 「別途審議会を開催したうえで十分な説明を行い」の部分、前段で 11%という改定率が具体的に出ているが、経営戦略の中身を見ると、11%が目標値ではなく、あくまでも経費回収率や基準外繰入金削減額が目標値である。改定率 11%で足りるかはまだわからない。「経営戦略で定めた経費回収率などの経営目標を達成できるよう」とか、これらの指標が優先であるという表現を入れるべきでは。

事務局 今後の使用料改定については、それ単体があるわけではなく、計画に沿ったものであるべきなので、答申でそういった表現をしていただく方が良いと思う。

●2 社会資本総合整備計画（公共下水道事業）の事後評価について

高野会長 「事業は計画どおり実施・完了しており、アグリパークが公共下水道へ接続可能となったことで、合併浄化槽からの切替が完了し」とあるが、この表現では合併浄化槽が悪かったと読み取られる可能性がある。表現を変えられないか。

引地委員 公共下水道に切り替えたことによりメリットがあったと表現できれば良いのではないか。

蓮沼委員 「老朽化して機能を発揮しなくなった合併浄化槽からの切り替えが完了し」という表現はどうか。

高野会長 指摘した部分をうまく表現していただけている。

事務局 実態に即した表現である。修正する。

新井委員 アグリパークだけを特筆しているように感じる。

| | |
|-------|---|
| 松本委員 | 視点を改めてみると、浄化槽から公共下水道へ接続されたことによる使用量が増加し、収入、回収率などの向上・改善がみられるといった方向はどうか。 |
| 高野会長 | 「水質改善や公衆衛生の向上」の後に、「使用料収入の確保」といった視点を加えるという考えはどうか。 |
| 事務局 | 加筆する。 |
| 川嶋副会長 | 「下水道整備率」は一般的には「下水道処理人口普及率」ではないか。 |
| 高野会長 | 一般的にはご指摘の通り。ただ、計画段階で定めたものであり、整合を考えると表現は変えない方が良いと考えられる。そこで、「今回目標値として掲げた」とするのはどうか。 |
| 事務局 | 修正する。 |
| 堀江委員 | 今回、アグリパークに特化しているが、町全体の計画なのではないか。アグリパークは一つの事例であることを強調してはどうか。 |
| 高野会長 | 町全体の計画ではなく、経営戦略とアグリパークの2つが議題である。接続という観点からアグリパークを含めて健全化に向けて進んでいく必要があるという趣旨を入れるべきという指摘かと思う。 アグリパークの下水道整備をきっかけに他の整備も検討していくということか。 |
| 堀江委員 | 指摘の通り。 |
| 高野会長 | 最後の段落で「計画的な維持管理を進め、引き続き接続率の向上に努めるとともに」という表現を加えてはどうか。 |
| 事務局 | 加筆する。 |

杉戸町附属機関等の会議の公開要領第7の規定により署名する。

令和 8 年 / 月 26 日

署名委員

藤倉 正

署名委員

蓮沼 弘行